

部 局 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

部局名	建設部	部局長名	石澤 一美
-----	-----	------	-------

部局の 経営資源	当初予算	79億円		
	構成人員	職員	嘱託	計
		87人	12人	99人

部局の使命 (組織の存在価値)	土木建築等所管事務の遂行を通して、市民の安心・安全の確立及び利便性の向上を図ること	組織目標像	<p>施設の目標像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危険箇所の計画的解消 ・管理施設の安全性の向上 ・機能的、効率的な都市計画等の確立 ・道路、公園等施設の計画的整備による生活環境の向上 ・市民ニーズに対する迅速な対応 <p>組織の目標像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の健康向上 ・支所との連携強化等即応体制の確立 ・課題・難題対応のための部内検討体制の確立 ・明るく風通しの良い職場環境の創造
--------------------	---	-------	--

平成20年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

重点事項	具体的な成果目標(めざそう値)	具体的な取組内容	進捗状況(年度中間)	年度末の達成状況
防災・安全対策の促進	急傾斜地やがけ地近接住宅事業の計画的実施及び事業促進	危険箇所対策のための計画的な予算の確保及び事業実施並びに広報紙等を活用しての市民周知を図る。	・(県単)急傾斜地対策事業 6地区実施,(県営)急傾斜地対策事業1地区実施し計画的な予算要望を行っている。	
	管理施設の点検及び危険箇所対策の実施	地区住民や指定管理者との情報交換を行なう。	・市営駐車場の管理状況について,随時情報交換を実施した。 ・毎月の報告書及び現地確認を実施,不備な箇所は,即時修正させている。	
	危機管理体制,即応体制の確立	異常事象時やその他事故発生時における複数連絡網の作成,業者等協力体制の確立。	・課内連絡網を作成するとともに,台風時等課内での情報共有,即応体制をとった。	

部 局 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

<p>利便性・福祉の向上</p>	<p>都市計画区域等見直しの計画的な推進</p>	<p>説明会やパブリックコメント等により住民意向等の把握。</p>	<p>・特別用途地域の指定等の都市計画決定時に説明会、市役所ホームページ等での情報提供等実施するなど概ね計画通り進捗している。</p>
	<p>道路公園等計画的事業の促進</p>	<p>予算の計画的な確保及び効率的な事業の執行。</p>	<p>・継続中の道路公園等は、引き続き整備している。公園については11月中には、全件発注予定。</p>
	<p>まちづくりの核となる区画整理事業の推進</p>	<p>計画的な予算の確保、計画見直し等早期の終了。</p>	<p>・駅周辺地区土地区画整理事業では難航していた補償協議が解決。今後整備を促進していく。</p>
	<p>地籍調査事業の計画的推進</p>	<p>計画的な予算を確保し、早期の終了を目指す。</p>	<p>・東郷地域現地調査完了を含め各事業所も天候にも恵まれ蜂による被害も無く順調に推移している。</p>
	<p>要望・苦情等に対する迅速な対応</p>	<p>要望・苦情等に対する迅速かつ確実な対応のためのメモ・報告の作成。</p>	<p>・要望・苦情等に対し迅速・確実に報告書や敏速な対応を図った。</p>
<p>部内組織の強化</p>	<p>健康管理の徹底</p>	<p>人間ドック、健康診断等の積極的な受診。</p>	<p>・人間ドック、健康診断、献血等積極的な受診を行い、健康管理に努めた。</p>
	<p>各課・支所連携による課題等対応検討会の実施</p>	<p>部内課長・代理等による課題等対応検討会を年4回程度実施。</p>	<p>・各課において、毎月定例会を実施したり、課題等の対応策として適時検討会を開いた。</p>
	<p>明るい職場環境づくりの推進</p>	<p>声かけ運動、ボランティア活動、レクリエーションの積極的実施。</p>	<p>・ボーリング大会等課内レクリエーションの開催を実施した。 ・毎月第一月曜日は、向田児童公園の清掃実施。 ・声かけ運動、レクリエーションの実施により職場環境づくりに努めた</p>
<p>年度中間総括</p>	<p>・防災・安全対策の促進及び利便性・福祉の向上については、概ね計画どおりの取組みができており、今後も取組みを継続していく。 ・部内組織の強化のため、職員の健康管理の徹底・明るい職場環境づくりの推進に積極的に取り組んでおり、今後も積極的な取組みを継続していく。</p>		
<p>年度末総括</p>			